

1日目閉会挨拶

○司会 それでは最後に、本日の会場となりました岐阜大学学長、森脇久隆様より、ご挨拶をいただきたいと存じます。お願いいたします。



森脇久隆 岐阜大学長からの閉会あいさつ

○森脇久隆（岐阜大学長）

只今、ご紹介いただきました、岐阜大学学長の森脇でございます。

本日は、第19回ライチョウ会議ぎふ大会にご出席いただき、誠にありがとうございました。私自身、3時間強に渡るこのシンポジウムを、大変楽しく聴講させていただきましたし、勉強にもなりました。更に、今日、発表いただいた皆様方には、熱意、それからご努力に、本当に頭が下がる思いでございます。ありがとうございました。

さて、今日、明日のこの会議でございますが、参加者名簿を拝見いたしますと、両日で20の都府県から300人を超える方々をご参加いただいている、とのことでございます。岐阜県の鳥とって、ちょっとまだ問題があるんだぞという、内容もございましたけれど、たとえば、今日、お土産にライチョウのお菓子が入っておりますけれど、あれをたとえば県のアンテナショップに置くとか、そういうようなPRの仕方もこれから考えていったらいいのではないかな、というような気がしております。更に関心が高まっていることを期待したいと思います。

この大会は、ライチョウ会議ぎふ大会実行委員会と、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学が主催を務めております。岐阜大学におきましては、環境、バイオ、情報、教育等の21世紀の重要なテーマを世界に発信することを目的として、岐阜シンポジウム、あるいは、環境ユニバーシティフォーラムを毎年開催しており、本大会もその一環と位置付けて開催したものでございます。私ども岐阜大学は、一方では地域活性化の中核拠点として、また、学び、究め、貢献する人が育つ所である、という大学として、ミッションを果たしてまいりました。

その一環として、今大会も、県の鳥、あるいは、県の自然環境保全にいかに向き合っていくのかを考える提起としたい、と考えております。なお、今日はこの後、18時までこの上の2階、図書館の2階でライチョウ展を開催しておりますので、ぜひ、ご参加いただいて、ご意見の交流も兼ねて、そこで更にミキサーが進めればと思います。

明日は9時40分からライチョウフォーラムとして、専門家がライチョウの最新の情報を発信する講演会を実施いたします。お時間の許される方々におかれましては、引き続き、ご参加をくださるよう、お願いを申し上げます。

終わりに、今日の1日目につきまして、岐阜大学までお運びをいただき、誠にありがとうございました。また、明日も引き続き、よろしくお願ひしたいと思います。今日は本当に、ご来場ありがとうございました。

以上、簡単ですけれど、閉会のご挨拶といたします。

○司会 森脇学長様、ありがとうございました。これもちまして、第19回ライチョウ会議ぎふ大会ライチョウシンポジウムを終了いたします。皆様、本日のご参加、誠にありがとうございました。